

## 第4節 刊行物

### (1) 紀要

#### 平良市総合博物館紀要

##### 第1号 1994(平成6)年3月

「近世時代後期における宮古の自然災害」  
「空白の3か月有半～敗戦直後の宮古～」  
「地名と屋号で見る狩俣集落の変遷」  
「宮古群島のキケマン類について」  
「史料紹介(中村十作関係資料)」

砂川玄正  
仲宗根将二  
佐渡山正吉  
川上勲  
仲宗根将二

##### 第2号 1995(平成7)年3月

「南蛮船・阿蘭陀船「通船・漂着・破損之時公事」」  
「『蔵元文書』と『船長日記』に見るロベルトソン号遭難救助の顛末」  
「大浦村における家庭での神行事について」  
「大浦村のピヤーン(男子)について」  
「『日取り帖』～暦書～」  
「池間島の鳥」

砂川玄正  
砂川玄正  
岡本恵昭  
岡本恵昭  
岡本恵昭  
久貝勝盛

##### 第3号 1996(平成8)年3月

「史料を通して見る「近世宮古の人々(士族・平民)」」  
「近世宮古の医療について」  
「久貝・松原の年中行事解説」  
「下地町与那覇湾一帯の鳥類相」  
「史料紹介「島尻吉之助ノートより  
ー狩俣部落の歩み・野田部落移住についての思い出ー」

砂川玄正  
仲宗根将二  
岡本恵昭  
久貝勝盛  
  
岡本恵昭

##### 第4号 1997(平成9)年3月

「子年飢饉の後で」  
「伊良部の鳥」  
「ツマグロゼミを発見した黒岩恒氏について」  
「ミヤコヒバアの卵の測定について」  
「資料紹介「海上挺身隊員中尾メモの公開について」

砂川玄正  
久貝勝盛  
岩井洋一  
饒平名里美  
岡本恵昭

##### 第5号 1998(平成10)年3月

「分頭税(定額人头配賦税)制度下の貢租反布」  
「宮古諸島における陸棲爬虫類の分布について」  
  
「多良間島・水納島の鳥類」  
「宮古島の琉球石灰岩層貝類・サンゴ類化石」  
「資料紹介「砂川一區農事組合南小組合之作業ニ対スル規則」」  
「元陸軍海上挺身隊「中尾メモ」全文紹介」

砂川玄正  
饒平名里美、当山昌直、陳賜隆  
安川雄一郎、高橋健、久貝勝盛  
久貝勝盛  
安谷屋昭  
岡本恵昭  
中尾藤雄

##### 第6号 1999(平成11)年3月

「分頭税(定額人头配賦税)制度下の貢租粟」  
「戦後50年宮古の現状と課題～自然と文化の変容～」  
「宮古島における葬制用語の解説と研究」  
「沖縄県池間島に分布する池間古砂丘について」  
「宮古の自然98」  
「ヤエヤマツダナナフシの宮古島からの記録」

砂川玄正  
仲宗根将二  
岡本恵昭  
安谷屋昭、神谷厚昭  
川上勲  
饒平名里美

##### 第7号 2000(平成12)年3月

「宮古のスク時代」  
「近世時代・史料を通して見る宮古からの記録」  
「宮古島の墓制について～墓地制度の分類の試み～」  
「沖縄県池間島の自然環境～地形・地質・土壌について～」  
「来間島の鳥類」  
「変容する来間島のムスヌン(虫払い)行事」

砂川正幸、真栄田義人  
砂川玄正  
岡本恵昭  
安谷屋昭  
久貝勝盛  
金子進

第8号 2001(平成13)年3月

「近世時代・宮古の杣林(公有林)」  
「明治26・定額人頭配賦税」  
「権現堂の創建」  
「神・人・死の儀礼」  
「島尻層群 城辺層とその火山円礫岩について」  
「巨大石灰岩層の島・宮古島と八重干瀬台礁」

砂川玄正  
砂川玄正  
平良勝保  
岡本恵昭  
安谷屋昭、上里和彦  
安谷屋昭

第9号 2004(平成16)年3月

「近世宮古の税制に関わる覚書」  
「狩俣地域の井戸掘り～水の確保に苦勞した人々～」  
「大神島の民俗変容と葬制墓制の変化」  
「大神島の地形・地層」  
「宮古諸島における外来性の両生・爬虫類の分布と生息状況」  
「平良市大野山林の動植物に影響を与えている要因」  
「宮古島の自然放射線レベル」  
「立津春方に関わる新聞・辞令等～近代宮古の解明の一助として～」  
「魏姓家譜」により「宮古島島民の上納帛帆の途中台湾に漂着、福州へ護送され、送還・帰島に至までの清国との折衝・経過の記録」

砂川玄正  
佐渡山正吉  
岡本恵昭  
安谷屋昭  
城間恒宏、太田英利  
岡徹  
古川雅英  
仲宗根将二  
奥平繁夫

第10号 2005(平成17)年3月

「宮古諸島における遺跡出土の屋瓦」  
「宮古諸島の遠見台と烽火の制」  
「近代前期の宮古の世相～人頭税廃止運動・もう一つの視点～」  
「立津春方に関わる新聞・辞令等～近代宮古の解明の一助として～(中)」  
「N・ネフスキー「若水」についての伝承」  
「宮古島における「神の相位とその所在性について」」  
「資料紹介「大神島の年中行事」について」  
「宮古における野生化クジャクの分布状況」

上原静  
砂川玄正  
砂川玄正  
仲宗根将二  
岡本恵昭  
岡本恵昭  
岡本恵昭  
岡徹

## 宮古島市総合博物館紀要

第11号 2007(平成19)年3月

「あまれ村と伝説の津波」  
「近世時代・各村の村役制度」  
「資料紹介 立津春方に関わる新聞・辞令等  
～近代宮古の解明の一助として～(下)」  
「三兄弟が協力して島づくりをした伝説(来間島立ての伝承)  
～ヤーマスブナカ祭祀の由来について～」  
「宮古島市伊良部佐和田湾におけるノッチ形成速度の試算」  
「宮古島・前期鮮新統島尻層群大上層に産出する熱帯性巻貝ハスナガソデガイ(Tibia fusus)化石について」  
「宮古諸島・宮古島と来間島のチョウー1999～2006年の調査」  
「宮古の湧水に生息する十脚甲殻類」

下地和宏  
砂川玄正  
仲宗根将二  
岡本恵昭  
安谷屋昭  
角田真人、安谷屋昭、田口公則、  
砂川博秋  
砂川博秋  
藤田喜久

第12号 2008(平成20)年3月

「旧記にみる家譜の成立前夜～目黒盛豊見親の系譜から見えてくるもの～」  
「与那覇勢豊見親について」  
「小与座と小横目」  
「多良間島の洞穴性および陸性十脚甲殻類」  
〈短報〉  
「宮古島におけるクロマダラソテツシジミの発生」  
「クロマダラソテツシジミの斑紋異常型について」  
〈資料紹介〉  
「仲立氏正統系図家譜」  
「□「宮古国」の「宮古語」□方言学の柴田武教授逝く」

下地利幸  
下地和宏  
砂川玄正  
藤田喜久、砂川博秋  
砂川博秋、鴨川正道  
砂川博秋  
仲宗根将二  
仲宗根将二

第13号 2009(平成21)年3月

「大立大殿と仲宗根豊見親—宮古島主長の継承をめぐって—」  
「宮古の役人の冠・衣服・人生儀礼の規定」  
「宮古島の板干潮(ビーチロック)の分布と性状について」  
「宮古島のオオガニ類」  
「宮古島におけるミヤコサワガニの新たな生息地について」  
「宮古諸島の礁原におけるサンゴ礁モニタリング」  
「宮古の植物方言名について」

下地和宏  
砂川玄正  
安谷屋昭、上里和彦  
藤田喜久  
藤田喜久  
友利博一、梶原健次  
川上勲

<短報>

「サキシマエノキ *Celtis biondii* pamp. nar. insularis Hatusima, nom. nud”  
の果実と花の宮古島での記録」  
「戦後初期宮古の文芸活動Ⅱ 文芸誌(紙)等の盛衰」

佐藤宣子  
仲宗根将二

第14号 2010(平成22)年3月

「仲宗根豊見親と鬼虎—与那国攻入りの年代について—」  
「薩摩進行400年—先島(宮古)から考える—」  
「旧城辺町字福里の「八月十五夜の行事」その他」  
「宮古諸島西原の神々—祭祀集団への新たな加入に関する一考察—」  
「宮古の植物方言名について(2)」  
「宮古諸島の鳥類相」

下地和宏  
仲宗根将二  
本永清  
平井芽阿里  
川上勲  
久貝勝盛、仲地邦博、金子進、  
砂川友弘、砂川栄喜、山本晃  
藤田喜久、北村崇明  
上原孝三  
仲宗根将二

「宮古島崎田川にて採集されたスノナガヌマエビとニセモズクガニ」  
<研究ノート>「節祭り—若水を汲む—」  
<特別寄稿>「宮古島市総合博物館創立20周年によせて」

第15号 2011(平成23)年3月

「日本における秋のアカハラダカ渡りの現状—宮古島を中心として—」  
「宮古諸島の石灰岩大地とジオパークの可能性」  
「「自立」した14~16世紀宮古」  
「友利元島・砂川元島で確認された有孔虫堆積層」

久貝勝盛、仲地邦博  
安谷屋昭  
仲宗根将二  
久貝弥嗣

<事例報告>

「博物館を活用した学校教育活動<砂川小学校の事例を中心として—  
—付録. 博物館に関する市民の意識調査アンケート結果—」

下地治人 久貝弥嗣(アンケート  
調査実施:砂川小学校6年生)

第16号 2012(平成24)年3月

「宮古馬のルーツを探る」  
「高腰城址から出土した馬歯のc14年代測定について  
—付録、高腰城址出土馬歯の年代測定—」  
「戦時期の沖縄県会における宮古・八重山の諸問題  
—昭和12年11月の第55会議事録から—」  
「宮古島のヌグスガー(野城泉)におけるチスジノリ属藻の現状」  
「宮古島で確認されたホソバフジボグサについて」  
「サンバの歌—伊良部を訪ねて」  
「琉球弧宮古諸島に観る古層の環世界—女性は集落の生い立ちを抱いた—」  
「独逸皇帝博愛記念碑建立の顛末」  
「「宮古の地名」を歩く(3)地名を語る「宮古の歴史と文化」」  
「宮古の説話と世界像—「旧記類」の神話を中心に—」  
「宮古島市・八重干瀬の天然記念物を目指して—地形と地質—」

長濱幸男  
長濱幸男  
来間康男  
藤田喜久  
佐藤宣子  
本永清  
奥濱幸子  
砂川玄正  
仲宗根将二  
宮川耕次  
安谷屋昭

第17号 2013(平成25)年3月

「ニコライ・ネスフキーと若水の神話」  
「宮古馬のルーツを探る(続)  
—南島の飾り馬・江戸献上馬・册封使の乗馬と毛色—」  
「与那国の鬼虎征討」年代考  
—鬼虎征討「嘉靖元年(1522年)」説の由来を考える—」  
「「宮古大阿母」の意義—ファッションリーダーとしてのつかさ—」  
「宮古諸島池間島のトンボ・直翅類」  
「宮古諸島初記録のアシナガベンケイガニ」  
「2012年にヌグスガー(野城泉)で再確認されたミヤコチスジノリ」  
「新里の「トッスナギ スマフサリヤ」祭祀」

宮川耕次  
長濱幸男  
下地利幸  
奥濱幸子  
小浜継雄、佐々木健志  
藤田喜久  
藤田喜久、岸本和雄  
新垣則子、佐藤宣子、下地和宏、  
本永清  
仲地邦博  
下地和宏  
仲間伸恵  
仲宗根将二  
仲宗根将二

「与那覇湾—ラムサール条約登録湿地—」  
「宮古における鍛冶伝承」  
「宮古の地機について」  
<宮古関係図書紹介>「新里幸昭『宮古歌謡の研究 続1』」  
<史料紹介>「馬統氏支流系図家譜」

第18号 2014(平成26)年3月

- 「沖縄県下地島の石灰岩段丘地形について  
 ー陥没ドリーネ・入江水道の形成発達ー」  
 「宮古馬のルーツを探る(3)ー尻並第二遺跡出土のウマの遺体、宮古島在番等  
 と献上馬、および明国への貢馬の評価ー」  
 「宮古島トライアスロン競技と潮流予測」  
 「宮古諸島水納島のトンボ」  
 「宮古諸島水納島で確認したチョウ」  
 「宮古島大野山林のサンコウチョウの巣における卵、および雛の捕食者の特定」
- 「ニコライ・ネフスキーの伊良部調査」  
 「野原集落のサーツキ° ニガイ祭祀」  
 「与那覇勢頭豊見親の出自を考える〜「与那覇勢頭」は倭寇由来の名称か〜」  
 「宮古のグスク時代における建物跡の様相」  
 「戦後宮古の文芸活動(五)」

安谷屋昭  
 長濱幸男  
 長濱幸男  
 小浜継雄、砂川博秋  
 小浜継雄、砂川博秋  
 大井沙綾子、田中健太、仲地邦博、  
 高木昌興  
 上原孝三  
 新垣則子、佐藤宣子  
 下地利幸  
 久貝弥嗣  
 仲宗根将二

第19号 2015(平成27)年3月

- 「山北(宮原・高野)の集落と御嶽」  
 「空広(仲宗根豊見親)島主に陸るーその背景を考えるー」  
 「長南陣地壕群出土の木製品と保存処理について」  
 「粟国家における旧暦3月3日の祈願祭」  
 「村々の百姓役目について」  
 「国内・国外におけるサシバの秋の渡りルートについて  
 ー標識調査・衛生追跡調査 data の解析ー」  
 「第28回企画展「クバものがたり」調査研究報告」  
 「回想の戦中平良(=宮古)のまちと周縁〜疎開・教育・暮らしの周辺〜」

長濱幸男  
 下地利幸  
 植村明男、久貝弥嗣  
 新垣則子、佐藤宣子、本永清  
 下地和宏

久貝勝盛  
 與那覇史香  
 仲宗根将二

第20号 2016(平成28)年3月

- 「平良間切東仲宗根添村の土地整理事業」  
 「宮古諸島フデ岩の陸棲・半陸棲十脚甲殻類」  
 「稲村賢敷の世代計算「一世代26年」説を検証する」  
 「宮古島の棚原洞窟から発掘された象化石とその由来  
 ー宮古島の地質構造、中国大陸との陸地接続、大野越粘土の形成・古型マン  
 モスの移入の検討ー」  
 「宮古島の八重干瀬卓礁群とフデ岩の地形・地質・地史的概要  
 ー下地島の地形・地質との関連性を踏まえてー」  
 「宮古諸島から新たに見つかった維管束植物」  
 「宮古島市内の海軍砲台について」
- 「伊志嶺朝茂と戦後宮古の概況」

長濱幸男  
 藤田喜久  
 下地利幸

安谷屋昭、上里和彦

安谷屋昭  
 横田昌嗣、阿部篤志、佐藤宣子  
 久貝弥嗣、山口直美、菱木勇一、  
 西里咲子、川満広紀、森谷大介  
 仲宗根将二

第21号 2017(平成29)年3月

- 「スズメの集団罫(ねぐら)における個体数変動ー宮古島市平良松原地域ー」  
 「宮古島西原のシマユイ儀礼からー村・祭祀・人をめぐっての断章」  
 「カッチャー御嶽の由来と変遷」  
 「宮古島南東部・保良地域の地下水流域界とカルスト地下湧水群について  
 ー太陽泉(ティダガー)・石灰華段丘(セツカイカダンキユウ)と檳榔込洞(ク  
 バコンピズーツ)などを中心にしてー」  
 「宮古諸島水納島の十脚甲殻類相」  
 「戦史資料にみる海軍飛行場と陸軍中飛行場の利用」  
 「長南岩陰墓(H25)出土の虺龍文鏡」  
 「比嘉のバツカ・ショウガツ(二十日正月)」  
 「『根馬氏系図家譜正統』の記録「年数久遠而勉職位階生卒不詳」を考える  
 ー「仲宗根豊見親目黒盛五代の孫」への問題提起としてー」  
 「宮古諸島のチョウの記録(2012ー2016)」  
 「宮古諸島の蛾」  
 「宮古諸島におけるカワカミシロチョウの大挙飛来(2015年)」  
 「宮古島におけるクロツバメの大発生(2015年)」  
 「史料紹介と解説・衡平氏家譜」

久貝勝盛  
 上原孝三  
 長濱幸男

安谷屋昭  
 藤田喜久  
 山口直美、久貝弥嗣  
 久貝弥嗣  
 新垣則子、佐藤宣子、本永清

下地利幸  
 小浜継雄、砂川博秋  
 砂川博秋、小浜継雄  
 砂川博秋  
 砂川博秋  
 平良勝保

## 第22号 2018(平成30)年3月

- 「国指定の名勝及び天然記念物を考える(地質)  
—八重干瀬卓礁・フディ岩と下地島西部・通り池の地質学的イベント—」 安谷屋昭
- 「宮古島断層帯の将来発生する予測震度などについて  
—地質構造と地質汚染を主に—」 安谷屋昭  
小浜継雄、木村正明、駒井古実、  
砂川博秋  
藤田喜久  
藤田喜久  
新田由佳  
新垣則子、佐藤宣子、本永清  
長濱幸男  
久貝弥嗣  
久貝弥嗣、山口直美、森谷大介、  
菱木勇一、川満広紀  
下地和宏
- 「宮古諸島池間島・大神島・来間島の十脚甲殻類」  
「標本を基にした宮古諸島の十脚甲殻類記録」  
「宮古島市総合博物館の美術工芸資料紹介」  
「城辺字西里添ユナムダキの年間祭祀」  
「飛鳥翁の生い立ちと祭祀」  
「宮古島市内の出土銭貨について」  
「宮古島市内の戦車壕に関する考察」
- 「長間村敷の移転について考える ～長間村創建の地をめぐる～」  
「宮古島地名雑考(2)地名を(地形と伝承)で訪ねる  
—城邊(ぐすくなぎ・こすくち)へ—」  
「「宮古病院」設立への軌跡と地域医療」  
「史料紹介 宮金氏系図家譜支流」
- 下地利幸  
仲宗根将二  
仲宗根将二

## 第23号 2019(平成31)年3月

- 「宮古のサンバ文化」 久貝勝盛
- 「宮古・池間島のカツオ産業文化誌(1)  
—近現代における池間島カツオ産業史の整理と検討—」 若林良和、川上哲也  
長濱幸男
- 「宮古島の牧と沖縄北部のマキ」  
「仲宗根豊見親「八重山入の時あやこ」私訳解  
—治まり鎮まって豊んだのは宮古嶋だった—」  
「嘉靖元年壬午(1522)を考える ～「忠導氏家譜正統」の検証を通して～」  
「宮古の島々の方言呼称、および季節を表す方言」  
「カワアナゴ属魚類の嘔吐物中から発見されたオハグロテッポウエビ」  
「沖縄県天然ガス試掘調査・宮古R-1抗井に基づく島尻層群の地質層序と大神島の堆積礫・化石・成り立ちについて(試案)」  
「宇調査報告 東仲宗根編」
- 下地利幸  
下地和宏  
本永清  
藤田喜久
- 安谷屋昭  
與那覇史香、寺崎香織、  
久貝かおり、新田由佳、砂川奈美子  
仲宗根将二
- 「「平良」(くピサラ=ヒララ)の形成は港から ～官庁街・三通り・市場・料亭街」

## (2) 宮古島市総合博物館収蔵資料図録・目録

- 『宮古島市総合博物館図録 第1集 旧家資料編』 2012(平成24)年3月
- 『宮古島市総合博物館収蔵資料目録—自然資料編—』 2013(平成25)年3月
- 『宮古島市総合博物館収蔵資料目録—歴史資料編—』 2014(平成26)年3月
- 『宮古島市総合博物館収蔵資料目録—民俗資料編—』 2016(平成28)年3月
- 『宮古島市総合博物館収蔵資料目録—美術工芸資料編—』 2018(平成30)年3月

## (3) 年報

### 平良市総合博物館年報

- 『平良市総合博物館年報(平成2年度)No.1』 1991(平成3)年3月
- 『平良市総合博物館年報(平成3年度)No.2』 1992(平成4)年3月
- 『平良市総合博物館年報(平成4年度)No.3』 1993(平成5)年3月
- 『平良市総合博物館年報(平成5年度)No.4』 1994(平成6)年3月
- 『平良市総合博物館年報(平成6年度)No.5』 1995(平成7)年3月

『平良市総合博物館年報（平成7年度）No. 6』	1996（平成8）年3月
『平良市総合博物館年報（平成8年度）No. 7』	1997（平成9）年3月
『平良市総合博物館年報（平成9年度）No. 8』	1998（平成10）年3月
『平良市総合博物館年報（平成10年度）No. 9』	1999（平成11）年3月
『平良市総合博物館年報（平成11年度）No. 10』	2000（平成12）年4月
『平良市総合博物館年報（平成12年度）No. 11』	2001（平成13）年11月
『平良市総合博物館年報（平成13年度）No. 12』	2002（平成14）年7月
『平良市総合博物館年報（平成14年度）No. 13』	2003（平成15）年7月
『平良市総合博物館15周年記念誌（平成15年度）』	2005（平成17）年3月
『平良市総合博物館年報（平成16年度）No. 14』	2005（平成17）年6月

## 宮古島市総合博物館年報

『宮古島市総合博物館年報（平成17年度）No. 15』	2006（平成18）年5月
『宮古島市総合博物館年報（平成18年度）No. 16』	2007（平成19）年7月
『宮古島市総合博物館年報（平成19年度）No. 17』	2008（平成20）年9月
『宮古島市総合博物館年報（平成20年度）No. 18』	2009（平成21）年9月
『宮古島市総合博物館年報（平成21年度）No. 19』	2010（平成22）年10月
『宮古島市総合博物館年報（平成22年度）No. 20』	2011（平成23）年10月
『宮古島市総合博物館年報（平成23年度）No. 21』	2012（平成24）年10月
『宮古島市総合博物館年報（平成24年度）No. 22』	2013（平成25）年10月
『宮古島市総合博物館年報（平成25年度）No. 23』	2014（平成26）年10月
『宮古島市総合博物館年報（平成26年度）No. 24』	2015（平成27）年9月
『宮古島市総合博物館年報（平成27年度）No. 25』	2016（平成28）年9月
『宮古島市総合博物館年報（平成28年度）No. 26』	2017（平成29）年9月
『宮古島市総合博物館年報（平成29年度）No. 27』	2018（平成30）年12月

## （4）展示案内

『宮古の自然と風土 展示案内』	2010（平成22）年3月
-----------------	---------------

## 第5節 新博物館計画の概要

### (1) 新博物館構想

平成30年3月作成「新宮古島市総合博物館基本構想・基本計画」より一部抜粋

#### ①新博物館建設の意義

博物館は、宮古の歴史や文化、自然に関するあらゆる資料の収集・保管・調査研究・展示・教育普及活動を行い、次世代へと継承していく施設です。また、博物館活動や発信する情報を通して、自然と人の関わりや先人の知恵を学び、知的活動を楽しむことで、市民、とりわけ子どもたちが宮古への郷土愛と誇りを育む役割を果たすものとし、そのためには、現代に即した博物館機能や体制の充実を図り、市民の知的好奇心を満足させる新博物館が必要です。

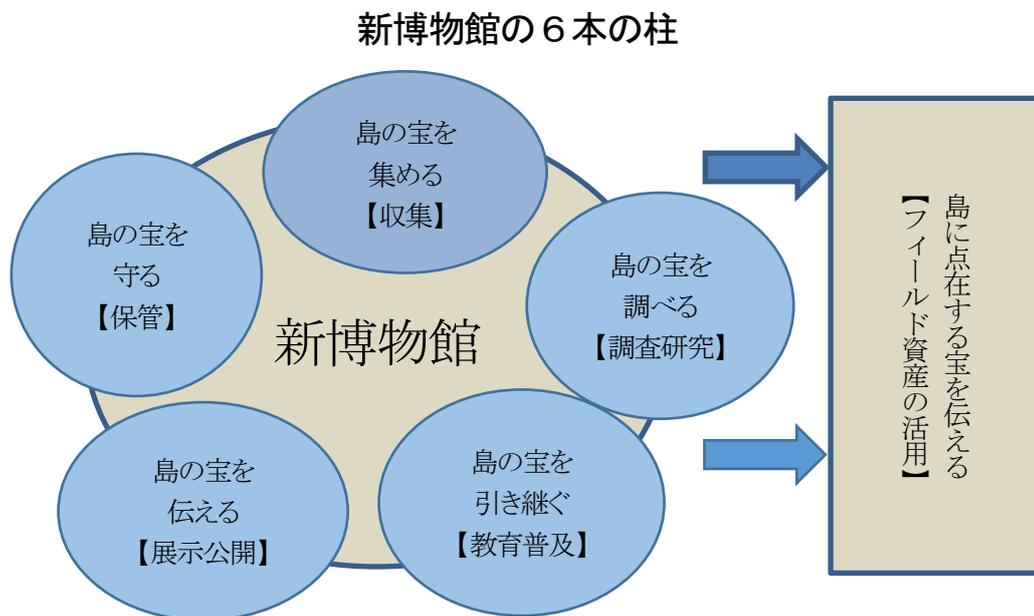
#### ②基本理念 「島の宝を守り、未来へ引き継ぐ宝箱 ～宮古の魅力を再発見～」

宮古の自然と風土、そしてこれらによって育まれた人々の歴史や文化は、かけがえのない宮古の宝であり、後世へと継承しなくてはならないものです。博物館は、「島の宝」を預かる「宝箱」としての役割を果たすとともに、宮古の魅力を発信する拠点となる場です。そして、これらの宝を集結させた展示を通じ、大人から子どもまでが「んまりずま（生まれた島）」の魅力を再発見し、「宮古はおもしろい！」を気づき、郷土愛を育める環境を創出します。そして、誰もが気軽に足を運ぶことができ、島の宝＝自分たちの宝と感じてもらえる博物館を目指します。

#### ③新博物館の基本機能

新博物館は、博物館の基本的な機能、事業活動である資料の収集、保管、調査研究、展示公開、教育普及に加え、宮古に点在する資産の活用を図ります。

展示においては、常設展示を刷新し、より多くの利用者が興味を引き、話題を呼ぶような企画展示、特別展示を開催することで、いつ訪れても新鮮な展示を観覧できるものとします。そして、子どもたちをはじめ、市民が集う場や機会を提供します。



## (2) 新博物館事業推進フロー

第1段階	○基本構想		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設の設立目的・理念の検討及び確立</li> <li>・ 展示の基本的な考え方の検討及び設定</li> <li>・ 施設の性格の方針検討および設定</li> <li>・ 管理運営の方針検討および設定</li> <li>・ 施設建設スケジュールの検討および設定</li> <li>・ 施設の立地の方針検討</li> <li>・ 類似施設調査など</li> </ul>		
第2段階	○基本計画		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本構想の再検討（目的、性格、展示・施設方針全般）</li> <li>・ 展示構成計画（展示テーマ、展示ストーリー等）</li> <li>・ 展示空間の検討（展示ゾーニング、動線計画等）</li> <li>・ 施設計画、建築設計与件整理（諸室配置計画、諸室面積および機能の設定など）</li> <li>・ 管理運営計画の検討</li> <li>・ 事業スケジュールの検討</li> <li>・ 事業費（展示・建築・管理運営費等）概算算出</li> </ul>		
第3段階	○敷地の選定（設置者側による）		
第4段階	○展示基本設計	○建築基本設計	○設置者側
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示構成作成 （展示ストーリー・シナリオ、資料構成等）</li> <li>・ 上記に基く展示基本設計図作成 （平面図、展開図、展示イメージパース、映像ソフト、映像機器、概要、グラフィック等）</li> <li>・ 基本設計説明書</li> <li>・ 展示・建築工事区分調整</li> <li>・ 製作スケジュール</li> <li>・ 資料調査及び設定 （模型、原寸再現、レプリカ、映像等）</li> <li>・ 展示製作費概算</li> <li>・ 維持管理費の設定</li> <li>・ 備品の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築プラン作成 （平面図、立面図、断面図、設備設計、構造計画、収蔵庫設計、施設配置計画、長期修繕方針等）</li> <li>・ 基本設計説明書作成</li> <li>・ 建築工事費概算</li> <li>・ 維持管理費の設定</li> </ul> <p>※収蔵庫の設計及び工事区分については展示設計者と検討要す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 準備室設置 （展示、建築、管理運営等の検討業務）</li> <li>・ 設計者選定等業務</li> <li>・ 建築及び展示設計指導</li> <li>・ 分野別監修者の設定</li> <li>・ 文化庁、東京文化財研究所の指導調整</li> </ul>

第5段階	○展示実施設計	○建築実施設計	○設置者側
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示基本設計の見直し</li> <li>・ 建築実施設計との調整 (詳細及び工事区分等)</li> <li>・ 展示実施設計 特記仕様書 平面図 展開図 断面図 展示造作詳細図 展示アイテム詳細図 演示具 資料製作図 映像シナリオ 映像機器 照明機器 グラフィック図 展示パース図</li> <li>・ 展示実施設計説明書 (概要書)</li> <li>・ 展示製作積算書</li> <li>※備品の検討及び予算化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築基本設計の見直し</li> <li>・ 展示設計との調整 (同左)</li> <li>・ 建築実施設計 特記仕様書 意匠図 (平面、展開、断面図 等)</li> <li>構造図 空調設備図 電気設備図 昇降機図等 収蔵庫関係図面 室名サイン図等</li> <li>・ 建築実施設計説明書 (概要書)</li> <li>・ 建築工事積算書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示及び建築設計の調整及び内容精査と指導</li> <li>・ 監修者指導調整</li> <li>・ 管理運営計画の精査</li> <li>・ 備品等の選定</li> </ul>
第6段階	○展示資料製作	○建築工事	○設置者側
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 映像ソフト</li> <li>・ 標本整備</li> <li>・ レプリカ製作等</li> <li>※建築工事調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎工事</li> <li>・ 躯体工事</li> <li>・ 設備工事</li> <li>・ 内装工事</li> <li>・ 外構工事</li> <li>※竣工時環境調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築、展示の製作管理</li> <li>・ 管理運営計画の精査</li> </ul>
第7段階	○展示製作	○枯らし期間	○設置者側
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示造作</li> <li>・ 展示什器製作</li> <li>・ 標本、レプリカ等製作</li> <li>・ 映像制作</li> <li>・ 映像機器構成等</li> <li>・ グラフィック製作</li> <li>※竣工時環境調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※文化庁の推奨として国宝、重要文化財展示にあたっては、コンクリート打設後、2夏経過もしくはそれに準ずる環境を確保とある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務委託者の決定</li> <li>・ 既存施設より新館へ資料移設</li> <li>・ 既存施設解体等</li> <li>・ 開館時特別展の計画及び実施</li> <li>・ 備品購入、設置</li> <li>・ グラフィック原稿作成</li> </ul>

第8段階	○資料列品	○枯らし期間	○設置者側／開館準備
	※資料列品にあたっては6か月の環境調査の上実施	・(同左)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館準備 (業務委託者等指導含む)</li> <li>・図録の編集・発行</li> <li>※開館時にあることが望ましい</li> <li>・資料列品作業</li> <li>・広報宣伝～開館</li> <li>・開館時特別展実施</li> </ul>

### 新博物館と市民活動の関係

